

1. 開設大学	広島大学 生物生産学部	開催方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 (東千田キャンパス) <input checked="" type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)
2. 科目名	食文化論		
	学問分野	番号	33 名称 農学 (農学、水産学等)
3. 担当教員	上野 聡・三本木 至宏・島田 昌之・長命 洋佑 (以上 4 名大学院統合生命科学研究科)		
4. 開講学期	前期		
5. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和 5 年 4 月 12 日 (水) ~ 令和 5 年 7 月 26 日 (水) 19 時 40 分 ~ 21 時 10 分		
6. 募集定員	100 人		
7. 科目内容・ 授業計画	<p>第 1 回: (担当: 上野) イン트로ダクション: 「いただきます」(ごはん学) 食事と人間、食事と文化との関わりを「ごはん学」の観点から解説を試みる。 参考文献: いのちと心のごはん学 (小泉武夫著 (NHK 出版) 2012 年)</p> <p>第 2 回: (担当: 長命) 我々の食を取り巻く環境について、世界の食料需給・食生活・食料生産などの変遷について、農業経済学的な視点から様々なデータを用いて解説します。</p> <p>第 3 回: (担当: 三本木) 発酵食品概論 発酵食品製造に関わる微生物の営みを学ぶ。</p> <p>第 4 回: (担当: 島田) 各国の料理にあった畜産物をつくる生産コストと価格決定 ハムやソーセージなど豚肉を加工して食する欧州、ポークチョップなどボリウム満点な北米、豚しゃぶ、ミルフィーユトンカツなどスライス肉を料理する日本、それぞれにあった豚肉を作る舞台裏とそれにかかるコストについて解説します。また、TPP に揺れる国産畜産物の生き残りについて、それぞれの食文化からの嗜好 (需要) とその供給、価格決定理論から考えてみます。</p> <p>第 5 回: (担当: 上野) じゃがいも 貧者のパン: ジャガイモ。このジャガイモが発祥地南米からどのようにして世界中で栽培されるほどポピュラーになったのか? 各地でのジャガイモと人々との関わりを代表例を通してみていく。参考文献: ジャガイモの世界史 (伊藤章治著 (中公新書) 2008 年)</p> <p>第 6 回: (担当: 長命) 我々が食する肉に関して、肉用牛の生産の現状・肉用牛の歴史・食肉消費などについて、紹介します。</p> <p>第 7 回: (担当: 三本木) チーズ科学 欧米の発酵食品であるチーズと微生物の関係を学ぶ。</p> <p>第 8 回: (担当: 島田) 畜産農家の 6 次産業化 (食文化発信) による経営学 なぜ、6 次産業化なのか、養豚業では、豚肉の各部位の需要量と供給量の差による不採算が 6 次産業化で利益に変わることを紹介します。</p> <p>第 9 回: (担当: 上野) 砂糖およびチョコレート 甘くて白い商品作物の砂糖。発見されてから奴隷制が支えたプランテーション農業、さらには産業革命により世界中に広がった砂糖の歴史を紐解く。さらに、チョコレートについて、どのようにして今日どこでも見かけられる板チョコになったのか? 起源からの歴史を振り返りながら、必要であればサイエンスの要素も採り入れながら解説を試みる。 参考文献: 砂糖の世界史 (川北稔著 (岩波ジュニア新書) 1996 年)、カカオとチョコレートのサイエンス・ロマン (佐藤清隆・古谷野哲夫著 (幸書房) 2011 年)、チョコレートはなぜ美味しいのか (上野 聡 (集英社新書) 2016 年)</p> <p>第 10 回: (担当: 長命) 日頃飲んでいる牛乳や食べている乳製品に関する乳牛の生産・流通の現状について、紹介します。</p> <p>第 11 回: (担当: 三本木) 食生産の場としての農家の経営戦略 農家の経営について、一般的な経営学の視点から学ぶ。</p> <p>第 12 回: (担当: 島田) 畜産業と大学発ベンチャー 日本の養豚業を支える広島大学発ベンチャーの事例紹介とニーズに応える技術開発、ニッチ市場での差別化戦略について紹介します。</p> <p>第 13 回~第 15 回: (担当: 教員 4 名全員) 学生の発表会</p>		
8. 受講料	2,000 円		
9. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
10. 学習記録	交付する		<input checked="" type="checkbox"/> 交付しない
11. 科目等履修生	受け入れる		<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れない
	単位数	単位	
	受入学年		
	試験・評価 特記事項		
12. 開講条件※ あり・ <input checked="" type="checkbox"/> ない	① 最少開講人数 (人) ② 不開講通知日 (休講通知は、前の週の授業時に連絡する予定)		
13. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など 担当教員により、対面または録画 (オンライン) による開催が異なります対面開催の授業については、同時に録画しておき、後日録画資料を所定の URL にアップロードします。オンライン開講のみとなった場合には、受講生に事前に通知し、授業のガイダンス時 (第 1 回授業の冒頭で説明予定) に授業形式を指示します。詳細は受講者に対してお知らせいたします。		
14. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。

コロナ禍の影響により、対面授業の不開講・休講またはオンライン (同時・録画) に変更になる場合があります。